

NPO法人まち・川づくりサポートセンターの事業紹介

設立趣旨及び経過

石狩川流域の河川環境を活かしたまちづくりを行うため、住民主体のもと、住民・企業・行政などが連携して、まちづくりの様々な課題解決に向け、その「共通の理念」となる「まちづくり・川づくり基本構想」を策定し、この地域の資源である川・自然・人、そして、知恵や技術などを活かし、活力ある地域づくりをめざすため、「まちづくり・川づくり協議会」を平成15年6月19日に設立した。平成23年11月には、NPO法人「まち・川づくりサポートセンター」として新たなスタートを切った。



(2) 防災事業

石狩川流域水難救助サポートセンターの設立主旨
平成23年の3・11の東日本大震災や台風12号などの大規模な災害に備え、平成24年度の「石狩川流域住民水難救助訓練支援事業」を通じて、今後はわたしたちNPO法人まち・川づくりサポートセンターが主体となって、水害時や河川利用時における水難事故の被害者をなくすため、住民・団体・消防などには消防団などが、それぞれの役割分担の中で、安全な救助支援体制を構築するため、多様な主体が参加する各種合同訓練やその訓練を受講した訓練者同士のネットワークを形成することによって、お互いが見える関係をつくることで、今後連携した救助活動や水難事故防止活動などを行うことができる「石狩川流域水難救助サポートセンター」を設置し、これら活動を支援する事業をスタートさせました。
平成25年8月25日

石狩川流域水難救助サポートセンターの主な活動と体制

体制(構成:訓練参加者 事務局NPO)

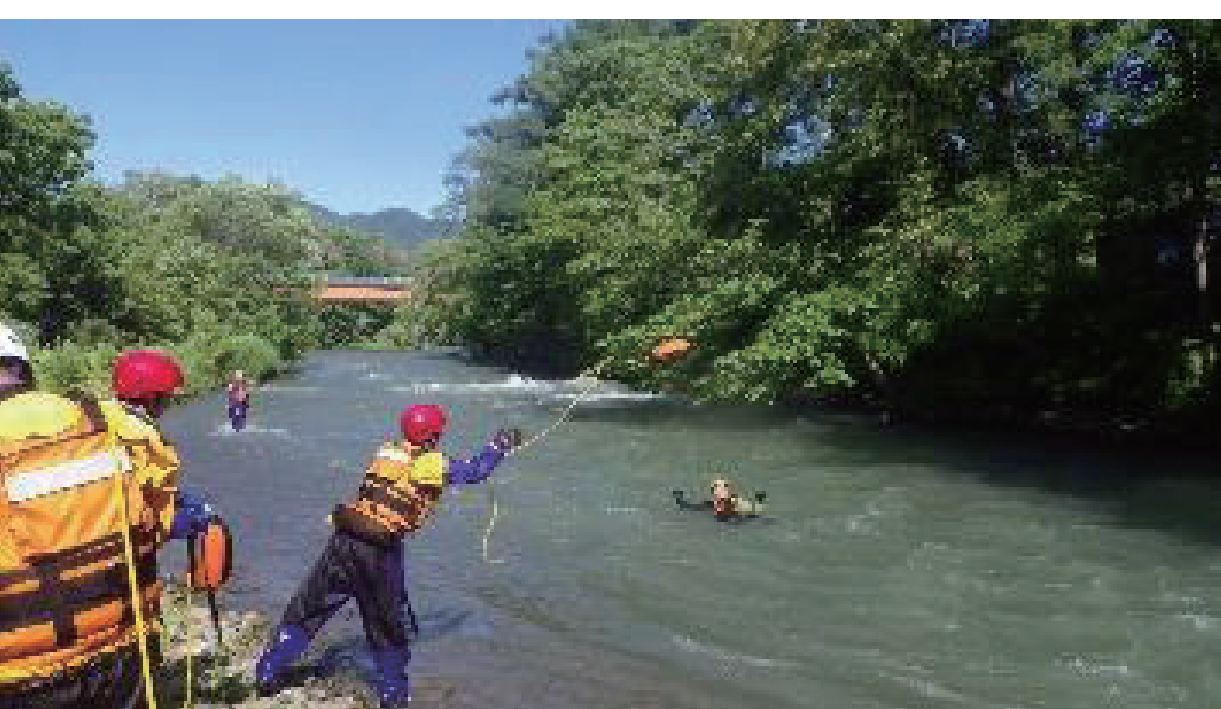
- 住民
- 事務局
- NPO法人まち・川づくりサポートセンター
- 自治体関係

主な活動

- 水難救助技術取得のための合同訓練の開催
- 有識者大会(Eポート)の避難提案の開催
- 防災教育(みんとち自然体験学校)の実施
- 水難事故防止の啓発
- 人材育成(AR・RC・プロジェクト)の実施
- 上記の参加者のネットワークづくり(交流会・名簿の作成・ホームページの情報センターの作成)
- 消防との水難救助装備の協力



子どもたちの防災キャンプ (川流れ)



多様な主体の参加による水難救助訓練



子どもたちの図上訓練

(3) 環境保全・改善事業



河川管理者(北海道)・地元農家・市と連携し、河畔林再生



石狩川のEポートによる川下り体験



河川管理者(国)・教育委員会と連携



河川管理者(国・道・市)住民・環境団体など連携



★上記は当NPO独自のご当地資格制度

187名の認定登録数(2016.12.01)

まち・川づくりサポートセンター IRI研修プログラム

I部 テキスト講習
川とまちづくり
石狩川の姿
安全な活動
活動事例
川の鑑賞
川の活動マップ

II部 実技研修
まちづくり・川づくり協議会の
活動参加(1回以上)
教育・川の体験活動
環境・美化活動・緑化活動等
交流・イベントや地域づくり



研修終了書発行

[RAC (川に学ぶ体験活動協議会)]
取得資格 リーダー

[CONE (自然体験活動推進協議会)]
取得資格 リーダー

[RESCUE 3 JAPAN]
取得資格 スイストウォーターレスキュー・ファーストレスポnderクラス



上記がすべて揃って

石狩川リバーインテリジェント

として認定する。(本NPO)

認定書発行

IRI人材バンク(インターネット)

IRIの紹介・転送・PR

IRIは、石狩川流域の川を活かしたまちづくり活動のコーディネーターとして活躍が期待される。

多くの方が認定登録
活躍している。
右記は当NPOホーム
ページより検索



Project Learning Treeは「木と学ぼう」と訳されていますが、今ではPLTの略称で全国的に知られるようになった環境教育プログラムです。

PLT では、複雑な環境問題について、何を考えるというよりは、どのように考えるかという学び方を身に付けます。



プロジェクトWET (Water Education for Teachers)は、水や水資源に対する認識・知識・理解を深め責任感を促すことを目標として開発された「水に関する教育プログラム」です。



國學院大学北海道短期大学部学生・市議会議員・市職員・市民団体等参加

